

市民参加の運営技術

徳島大学工学部建設工学科

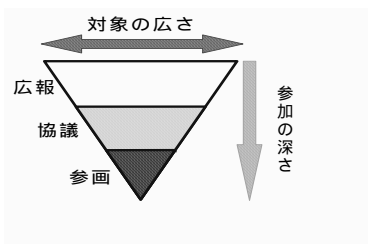
山中英生

市民参加型の広がり

- 公共選択の審議型決定化
- 決める前に聞く
 - 単純な論理 多様な利害・関心・意見の反映
- みんなで直接・議論する
 - 代表制 関心者(利害者)の自由参加
- 正当な手順を尽くす
 - 寝耳の水 決定プロセスを知らせる
- 創造的な選択 よい選択
- 参加者の成長 良質の地域社会の形成

PI : 社会的課題に対して幅広い人々の貢献を促すこと
パブリック : 我々と感じる仲間 関係ある人

3つのすべきこと



広報 : information
協議 : consultation
参画 : participation

情報の共有
相談・意見の場
少人数共同作業

関心の喚起
多様な関与促進
集団意思決定

社会的合意形成のプロセス

- 関与者の特定と利害分析 参加者
 - コンフリクトアセスメント
- 合意プロセスの設定と役割設定
 - プロセスコンサルテーション
- 審議
 - 集団的な合意形成
- 決定
 - 社会的な裁定、決定
- 実行・モニタリング



集団的合意形成のプロセス

- 問題の特定と構造把握
 - なにか問題の中心なのか?
- 手段の列挙と構成
 - 解決の方法
- 代替案の評価
 - 集団のコンフリクトの確認
- 代替案の選択
 - 交渉、裁定、決定



市民参加運営のポイント

- 参加のしかけづくり
 - 誰をどのように
 - 招聘、公募、グルーピング
- 参加のプロセスデザイン
 - どんな手順で
- 参加のプログラムデザイン
 - 話し合いの方法
 - 創造的・対話的・効率的な話し合いの運営

参加のしかけづくり

- 参加すべき人々の参加を促す試み
 - 事前ヒアリング
 - 多様な利害者の発見
 - 中立者の存在を知らせる
 - 議論する場の設営を知らせる
 - 会議・あつまりの構成
 - 親委員会とワーキング
 - 顧問と幹事
 - 部会と合同会議
 - 招聘(依頼)・公募・推薦
 - 不可欠な利害関係者の関与確保
 - 参加希望者の意向を配慮する

参加のプロセス運営

- 目標を達成するための手順を構成し、管理できる技術
 - 達成目標の決定
 - スケジュールング 期間・会合回数
 - 各フェイズの目標
 - 広報、協議(アンケート・フォーラムなど)計画
- 管理技術
 - たいてい思い通り、計画どおりにはいかない
 - 途中参加者への対応
 - 各フェイズで目標が達成できない
 - 途中見直し、戦略的な進行の必要性

参加のプログラムデザイン

- 良質の話し合いを構成する技術
 - ファシリテーション
- 話し合いの手法選択
 - グループ型、全体ファシリテート型、会議型…
- 場の雰囲気づくり
 - 民主的雰囲気、対立から創造へ、リフレーミング
- 決め方の演出
 - 納得、投票、旗揚げ、アンケート…

運営技術の評価

- 見つけていなかった、新しい課題が発見された？
- 創造的で、思いつかなかった解決案がでてきた？
- 参加者の達成感、信頼の拡大につながった？
- 楽しかった？

- …事例を聞きながら、他の視点も考えてみましょう…